もしもに備える！

スマホを使った119番通報！

～ 電話をしながら応急手当　命を繋ぐ「**“ハンズフリー通報”**」 ～

携帯電話





1　倒れた人のそばから**“離れずに通報”**できる！
　状況を説明しやすい！



2　**“ハンズフリー”（スピーカーモード）**を活用して、両手で応急手当ができる！



3　指令員から**“応急手当の方法を聞きながら”**、実施できる！
　方法がわからなくても安心！



固定電話





1　倒れた人が近くにいない場合
“すぐ状況を説明できない”！
　状況確認に時間がかかる！



2　状況確認に時間がかかると
“応急手当が遅れる”！
　1秒でも早く応急手当を！



3　電話をかけながら
“応急手当ができない”！



“応急手当”とは？



応急手当は「心肺蘇生法（心臓マッサージや気道確保）」「気道異物除去法」「熱傷手当」「止血法」などがあります。方法がわからない場合でも、**“スピーカーモードを使用してハンズフリーで通報”**することで指令員の説明を聞きながら応急手当を行えます。
心臓マッサージが必要な場合、方法だけではなく、指令員が口頭で適切なリズムを教えます。

“スマホがない”場合や“固定電話”の場合は？





固定電話の**“子機”**を使用して通報することで、倒れている人の近くから通報することができます。
固定電話や子機に**“ハンズフリー機能が搭載されている機種”**があるため、確認しておきましょう！

“もしも”に備えて確認しよう！

- ☐ **“住所”**（自宅や職場）　※　屋外などで住所が分からない場合、緑色の住所表示プレート、近くの交差点やお店を教えてください。
- ☐ **“119 番通報　会話例”**（**裏面**をチェック！）
- ☐ **“ライブ119”**の使用方法（右側の**QRコード**からチェック！）
　ライブ119とは、通報者と指令員が現場のリアルタイム動画を共有するシステムです。



要チェック！！

※ 出動した救急隊が現場へ到着する前に、状況確認のため、通報者へ連絡することがあります。

119番通報　会話例

指　令　員		通　報　者
「119番消防です。」 「火事ですか？救急ですか？」	⇒	「救急です。」
「住所を教えてください。」	⇒	「○○区○○○丁目○番○号です。」
「どなたのご自宅ですか？」	⇒	「○○（名前）です。」
「病気ですか？怪我ですか？」	⇒	「病気（怪我）です
この時点で、要請された住所へ救急車の手配は完了します。		
「何歳の男性ですか？女性ですか？」	⇒	「○歳の男性（女性）です。」
※ 意識の状態を確認します 「意識はありますか？」 「呼びかけに対して、返事ができますか？」	⇒	固定電話 「近くにいないので、わかりません。」 携帯電話 「○○さん、大丈夫？」「返事がありません。」
※ 呼吸の状態を確認します 「呼吸はありますか？」 「胸やお腹の上り下がりを教えてください。」	⇒	固定電話 「確認してきます。」 携帯電話 「呼吸がありません。」
※ 意識と呼吸がない場合 「心臓マッサージをしましょう。」 「スピーカーモードにしてください。」 **※ 指令員の説明を聞きながら、応急手当ができます。** 「胸の真ん中に片手を乗せて、 その上にもう片方の手をおきます。」 「胸が5cmくらい沈むように、真上から 強く押しましょう。」 「1，2　1，2（心臓マッサージのリズム）」 **※ 適切なリズムで行うことができます。** 「救急隊が到着するまで続けましょう。」	⇒	固定電話 「どのようにすればいいですか？」 「近くにいないので、できません。」 携帯電話 「スピーカーモードにしました。」 「心臓マッサージの方法を教えてください。」 「わかりました。今押しています。」 「どれくらいの速さですか？」 「わかりました。このリズムで押し続けます。」

お問い合わせ先 ： 北九州市消防局　救急部指令課（093－582－3823）